令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立浜松視覚特別支援学校PTA				
学校名	静岡県県立浜松視覚特別支援学校				
	☑ 視覚障害	□ 聴覚障害	□ 知的障害	□ 肢体不自由	□病弱
設 置 部	☑ 幼稚部	☑ 小学部	☑ 中学部	☑ 高等部	
全校児童·生徒数	25名				

1. 使用状况

使用状况	
寄贈物品名	フロアバレーボール、ゴールボール用ユニフォーム
使用学年及び人数	中学部、高等部普通科・専攻科 スポーツ部所属生徒 10名
使用頻度	年4回(6月親善球技大会、7月フロアバレーボール東海大会、 8月フロアバレーボール全国大会、12月ゴールボール東海大会)
使用状況	○6月17日(土) 東海地区盲学校親善球技大会(フロアバレーボール)会場:愛知県立名古屋盲学校体育館 参加校:東海地区盲学校6校本校からの参加生徒:中学部2名、高等部普通科2名、高等部専攻科3名 ○7月8日(土) 第24回東海地区盲学校フロアバレーボール大会会場:草薙総合運動公園このはなアリーナ 参加校:東海地区盲学校全7校本校から参加生徒:中学部2名、高等部普通科2名、高等部専攻科4名 ○8月23日(水)、24日(木)、25日(金)第7回全国盲学校フロアバレーボールしずおか大会会場:小笠山総合運動公園エコパアリーナ 参加校:全国地区代表10校本校から参加生徒:中学部2名、高等部普通科2名、高等部専攻科3名 ○12月9日(土) 東海地区盲学校第30回ゴールボール大会会場:岐阜県福祉友愛アリーナ 参加校:東海地区盲学校5校本校から参加生徒:中学部3名、高等部普通科2名、高等部専攻科3名
物品の使用による 変化や効果	今年度は、全国大会に出場したこともあり、学校として、フロアバレーボールでとても盛り上がった。生徒は、全国大会で1勝を目標に、積極的に練習にも取り組み、8月の全国大会の前には、学校で合宿練習も行った。全国大会には、公式ルールに則ったユニフォームを着用して、堂々と参加することができた。 大会後も、スポーツ部の活動が盛んになり、中学部、高等部生徒が積極的に体を動かす姿が見られるようになった。
今後の活用の 見通しや課題	フロアバレーボールだけでなく、ゴールボールのルールにも適応するユニフォームを作成していただいたので、両競技の大会に出場する際には、引き続きユニフォームを着用していきたいと考えている。 課題としては、生徒は意欲が高まってきているが、それに答えられる十分な練習時間の確保や、大会等の機会が少なく、もっと、生徒がユニフォームを活用できる場を増やしていくことが必要であると感じている。
その他 希望や所感など	せっかく、在学中に取り組んできた競技(フロアバレーボール等)が卒業後にできる場が少なく、社会人になると、競技から離れてしまうことが多い。社会人でも様々な競技に参加できる環境を整えていく必要があると感じている。

2. 活用の様子

7月8日(土)第24回東海地区盲学校フロアバレーボール大会(このはなアリーナ)の様子



・東海大会の開会式にユニフォームを着用して参加



・東海大会では、ブルーのユニフォームで出場





・チームで円陣を組んで、気持ちを一つにします・前衛選手は方向をガイドされてサーブを打ちます

8月23日(水)、24日(木)、25日(金第7回全国盲学校フロアバレーボールしずおか大会の様子



・全国大会の開会式は、ホテルで行われました



・全国大会では、赤黒のユニフォームを着用しました



・全国大会は2日間かけて行われるため、ブルーのユニフォームも使用しました